

The Tables Turned—発想の転換を Nov.2018

通訳道場★横浜CATS主宰、持続可能な医療・農業・教育のための通訳者 冠木友紀子

撮影：ストラウド UK

福島は昔もこれからもホンモノの英語先進県！

福島が英語英文学の先進県？意外な気がしますか？でも浜通り、中通り、会津とひとりずつ「巨人」がいたんです。そしてなぜか、私はこのお三方にとてもご縁があるんです。まるで足元には及びませんが、お預かりした宝を福島の若い人たちと分かち合い、「英語と言えば福島」「福島の英語はホンモノ」という日が再び来ることを願っています。

まずはフェリス女学院1期生で日本初の女性翻訳家の若松賤子女史（本名、松川甲子）。戊辰戦争後、会津の隠密だった父は斗南へ。女所帯で貧しく暮らしていたところ、横浜の材木商に見出され、養女となり、横浜の「キダーさんの学校」=フェリス女学院に通います。自然な英語をマスターした賤子は、英文をひとまとまり読んで、歩きながら場面を想像し、一連の訳が思い浮かぶとまた腰を下ろして日本語訳を書くという翻訳方法。単語を単語に置き換えるなどという次元ではありません。いまの私の通訳方法と同じで心強い限りです。

「英米文学史」など多数の著書をしるし、日本の英米文学研究の土台を据えた巨人、斎藤勇先生は中通り、梁川のご出身、旧福島中学（現福島高校）のご出身。中学時代は信夫山、阿武隈河畔を歩きながら漢詩、英詩を口ずさまれたとか。養蚕

農家を継がずに好きな学問の道を選んだ、という家族への自責の念もあり、自分に厳しい学究生活を送られたそうです。

この斎藤勇先生に憧れて国際基督教大学に進まれたのが私の恩師、相馬にご縁の深い斎藤和明先生です。和明先生の詩の朗唱は英国人も唸るほど。笑いの絶えないユーモラスな授業でも、言語の音を尊び、自分の声、身体で味わうことを鍛えられました。和明先生は文学を通して「平和を創りだす者」を育てることを大切にしておいででした。第二次大戦中の秦緬鉄道での日本軍による英連邦捕虜虐待に心を痛められ、手記「クワイ河収容所」の翻訳、横浜での戦没捕虜追悼礼拝の発起と力を尽くされました。

お三方に共通する教えは「音声とイメージを大切にする」「学びに『~だけでよい、~の役に立つという』下心は禁物」「学ぶのは他者に貢献するため、平和と和解のため」「今を夢中で生きる」ということです。

2020年、福島でオリンピックの野球とソフトボールの予選初戦が開かれます。そのとき英語⇄福島語（標準語はだめ）で訳せる若者を今から育てたいものです。福島のみなさん、じゃんじゃん押しかけますからね♪

夭逝の翻訳家
フェリス1期生
若松賤子女史
(会津)
1864-96



日本英語英文学の
土台を据えた
斎藤勇先生
(中通り)
1887-1982



私の人生転換点で
あり原点です。
斎藤和明先生
(浜通り)
1935-2008



従来の概念を覆す、自然で美しい通訳技法をお伝えしています

通訳道場★横浜CATS <https://ycats.linguamusica.jp>

主宰 冠木友紀子



★通訳道場ニュース★ 4期は経営ゲームと聴覚トレーニングにも挑戦

あっという間に4期も終わりました。ご本人たちではなく参加証がお目見えしているのは、最終回にうっかり記念写真を撮り忘れたため。皆さんそれは素敵な大人の女性たちでした。でも、ときどきひょっこり子どもごころが顔を出す、それがかわいいんです。皆さんのリクエスト素材も「フラの歴史」「ホーミー唱法」などなど彩豊か。「ゲティスバーグ演説」「オバマ大統領広島演説」も押さえています。今回から通訳以外のサポートを試しに導入しました。経営シミュレーションゲーム「トータルゲーム」は生き方まで映し出す心の鏡。フリーランスの通訳者に不可欠な経営センス向上を願ってのことです。トマティス聴覚トレーニングは日本の湿気に負けず、プロとして綺麗な英語を保つため。緊張、興奮、弛緩の波が大きい通訳者の心を耳から支えられたらなおうれしいことです。5期は来年の予定です。



今期から参加証も作りました。これまでは…

★イベント報告★ 中高クラス会を横浜のホテルニューグランドで



信じられません！高校を卒業してもう30年なんて！ガラにもなくクラス会の幹事を引き受け、「節目の年はちょっと背伸びしてもきちんとしたところで」と欲張り、ホテルニューグランドさんへ。ここは高校のテーブルマナー教室でもお世話になったところです。憧れのフェニックスルームは神社と洋館が融合したような独特で重厚な空間、横浜らしい薫りが漂います。そこに相変わらずおしゃべり全開の私たち…。中高6年を、互いの自由と自分で考えることを尊重するフェリスと一緒に過ごしたってすごいこと！特別な仲良しや部活仲間じゃなくても、びっくりするほどお互いよく覚えています。30年ぶりでもあの頃より親しく話せる。あの中高時代とクラスメートは一生の宝です！

抜け穴だらけではなく、抜け穴そのものの幹事を支えてくれたクラスメートたち。早々と駆け付け、受付を手際よくこなしてくれました。中央の紳士はニューグランド宴会部次長の政木さん。同年代で話がはずみます。

★おススメ★ 「決定版 うちの猫の長生き大事典」学研



この本は愛猫のご長寿を願う皆さんにおすすめです。若いうちから健康的な生活習慣をつくるヒントが沢山。暖かい濡れタオルで後ろ足を温めると泌尿器によい、ウェットフードは出して20分で下げる、など知らなかったことばかりです。ありゃ？我が家の先代、黒猫のスミは海苔、マヨネーズ、牛乳、貝柱、井戸水が大好きで、予防接種はゼロ。この本によるとあまりよろしくなかったようですが、18歳で大往生でしたから、まあいいでしょう。今年4月にやってきたソラはまだ3歳。元気そのものですが、今からちょっと気をつけてみます。

ご質問、ご要望はお気軽にこちらまで
info@kabukiyukiko.com